

# をぶみ (雄踏)



浜松市立雄踏中学校

学校だより 29号

2022.2.2

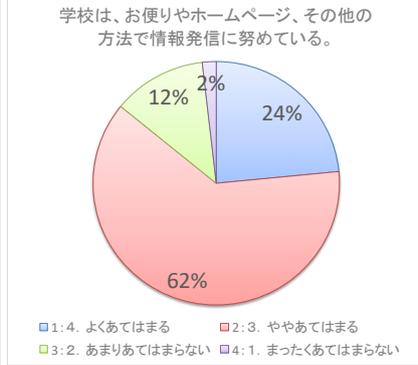
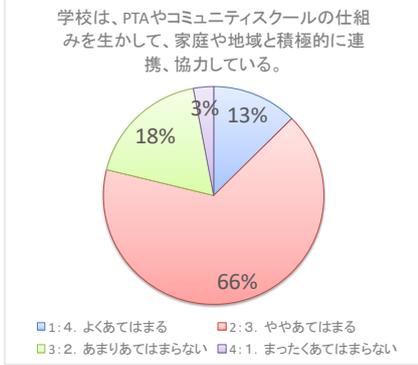
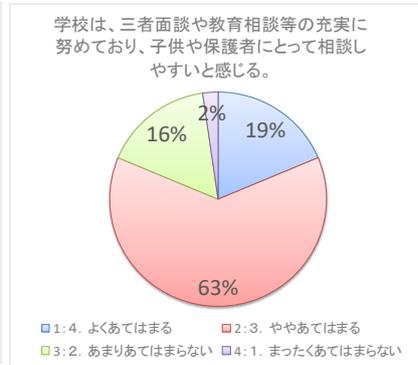
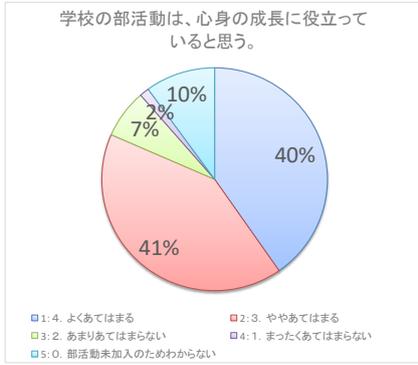
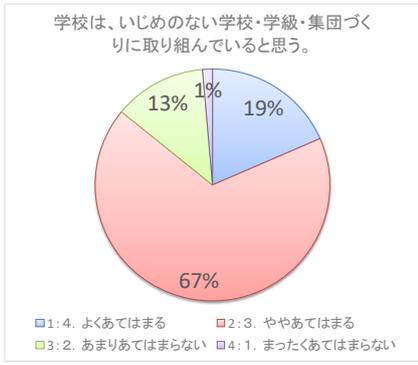
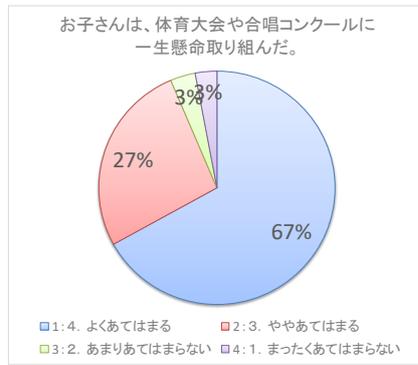
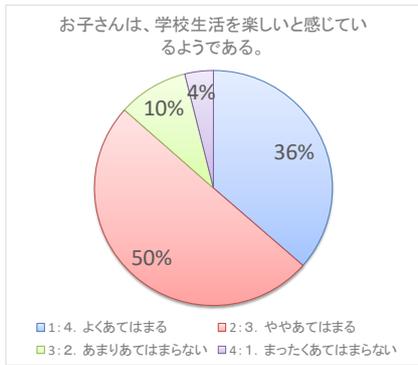
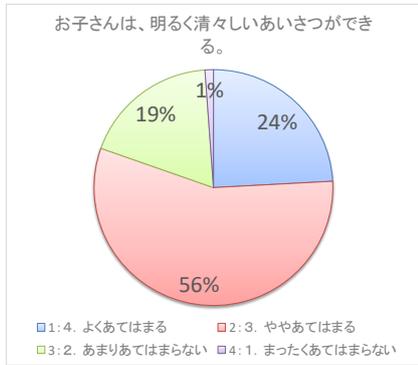
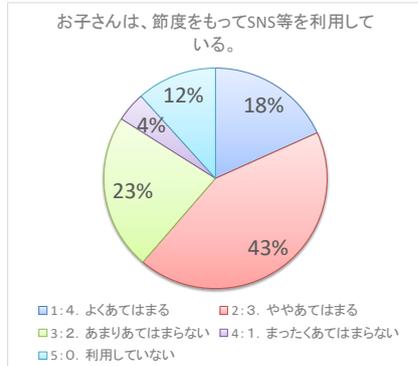
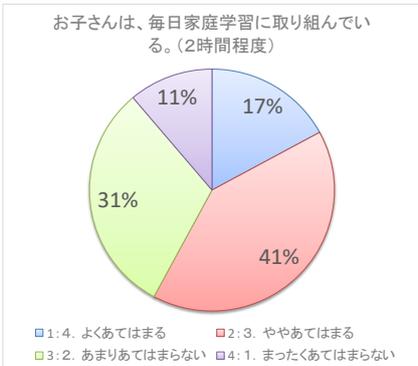
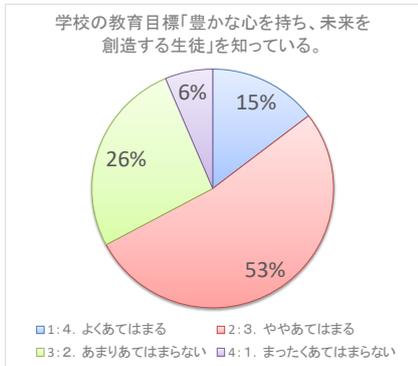
中学校区の求める生徒像：

豊かな心を持ち未来を創造する子

## ☆令和3年度 学校評価☆



《保護者アンケートの結果》 ※ホームページではグラフがカラーで見られます。



自由記述の欄は、32人の保護者の方からご意見をいただきました。ありがとうございます。教職員にとってうれしい内容だけでなく、厳しい内容も多くありましたが、よりよい雄踏中学校にするために謙虚に受け止め、今後の学校改善に生かしたいと思います。主なものを裏面に載せましたのでご覧ください。

《主なご意見（全体にかかわるもの）》



●情報発信に関すること

学年便りが少ない。他学年の様子も知りたい。月ごとに月行事を教えてください。テスト分布表がなく残念。日々の様子をブログ等にアップしてほしい。ホームページの便りの更新が遅い。小学校のようにさくら連絡網で便りを発信してほしい。さくら連絡網の活用が助かる。いろいろな面で学校側からの説明が不十分。行事や試験の連絡や通知が遅い。等

→社会の情報化にあわせ、来年度は紙媒体の便りを減らし、ブログの更新を増やしていく予定です。そのほうが浜松市のごみ減量や経費削減にもつながります。ただ、今までの便りを楽しみにされている方もいますので少しずつ電子化するつもりです。行事計画については、年間予定がホームページにあります。それ以上知りたい方は、学校へ遠慮なくお問合せください。学校からの様々な連絡が遅かったことは本当に申し訳なく、この場を借りてお詫びいたします。あらかじめわかることは1か月前をめどに連絡するようにしますが、今後も新型コロナの対応で急な変更があるかもしれません。その際はさくら連絡網で連絡しますのでご了承ください。

●教職員に関すること

教師の数は足りているのか不安。先生の余裕がなく見え、親としても不安。子どもが落ち着いて学校生活を送ることができるような校内体制にしてほしい。子どもの気持ちを第一に考えてほしい。経験の少ない先生をバックアップする体制を整えてほしい。教師→生徒のパワハラ、暴言など実態調査を形式だけのものでも済まさないようにしてほしい。等

→今年度は特に一年生で担任や教科担任の変更が多く、大変ご心配とご迷惑をおかけしました。また、教職員の言動に対するお叱りの言葉も数件いただきました。生徒や保護者の方に不安を感じさせてしまったことを深くお詫び申し上げます。来年度は今年度以上に若手教職員のバックアップ、職員間の研修や協力体制を充実させ、生徒が安全に安心して学校生活を送れるよう全職員で努力していきます。また疑問に思うことがありましたら、その都度ご連絡ください。

●生徒の活動や行事に関すること

文化発表会の他のクラスの動画も見たい。せめて同じ学年の他のクラスの合唱を聞きたい。放送漢字の直しができるように解答がほしい。放送漢字の回数が減り範囲が広すぎるので改善してほしい。部活動等がどんどん削られていくのは、子供達が打ち込めるものが少なくなってしまうのでは無いかと不安。等

→文化発表会の動画配信については、音楽著作権や配信環境、予算等の制約があり、何がベストかを模索しています。また、放送漢字やその他の活動については、国の働き方改革が進む中で、学校が「やるべきこと」と「やらなくてもよいこと」の見直しが迫られ、縮小傾向にあることをご理解ください。部活動や中体連については、現時点で来年なくなるという情報はありませんが、徐々に活動が制限されていくのは確かだと思います。私たち教職員も残念に思います。

●その他

かばんが重すぎるので学校に置いていってよいものを示してほしい。コロナ禍の中、資源回収はやらない方向で考えてほしい。三者面談 15分は短い。コロナ対策における防寒着について教えてください。保護者説明会等オンライン参加も可能にしてほしい。雨の日の登校はマスク無しでもいいのでは？等

→生徒の持ち物は、「をぶみ」第10号に書いてある通り、学校に置いていくか持ち帰るかを生徒が自分で判断することになっています。資源回収については、PTAで協議します。三者面談は、3学期から20分にしますが、それ以上望まれる場合は担任へご相談ください。防寒着はウィンドブレーカー等を教室でも着ることを認めています。各種説明会のオンライン参加は、今後検討していきます。登下校中のマスクについては、十分な身体的距離が確保できる場合や熱中症等、他のリスクが懸念される場合、生徒が自己の判断で外すことが可能としています。